

令和2年2月1日に思う

今年が明け、なお一層、義務教育学校の設立に意を強くしています。全国学力学習状況調査をはじめ、昨秋の村民大運動会での新しいページを飾った演舞「こころ魂」、さらには紅葉祭やかみせタイム学習発表会、やまぶき保育園生活発表会でのパフォーマンス等々、わが村の子どもたちは光輝いています。なかでも、川上小学校の5年生が総合的な学習の時間で防災について学び、災害への備えや行動をまとめた「川上村防災パンフレット」は、内容もレイアウトも素晴らしい出来栄です。1月号の広報紙とともに全世帯に配布したので、村民の皆さまの自主防災活動の一助となることを期待しています。

私たちの先人・先輩は、過疎問題やダム問題に翻弄されながらも、なんら臆することなく高々と水源地の村づくりを掲げ果敢に行動してきました。そのDNAは、わが村の子どもたちに確実に引き継がれていると思います。

今社会は、AI、5G、さらにその先へと、どんどん変化しつづけています。義務教育学校への取り組みは、そんな頑張る子どもたちに対する大人の責務と考え、「ふるさとに学び、力強く自らの未来を切り拓く」子どもたちを育むこととしています。今、開校に向けて基本設計業務を進めています。水源地の村がすべき重要施策の一つですので、村民の皆さまとともに意見を出し合い、協力して取り組んでいきたいと考えています。